

北九州市建設リサイクル資材の概要

(令和7年10月現在)

事業者名	株式会社環境施設		連絡先 (TEL) 担 当 者	093-791-8561 反田
認定番号	北九州市建設リサイクル資材 第 0003 号		認定年月日	令和7年10月1日
区 分	埋戻材等	品 目	改良土	
製 品 名	流動化処理土			
用途・規格 ・性能等	建設発生土等に固化材・水を混ぜ合わせ、所要の流動性を確保した埋戻材で、転圧が困難な場所への均質な充填、適切な配合による多様な工事での使用が可能である。 資材数：1 ①流動化処理土			
再生資源の種類 及び含有率	礫、高有機質土を除く建設発生土・建設汚泥で、30mmアンダー通過分は全て再生資源として利用する。			
認定有効期間	令和7年10月1日から令和10年9月30日			
認定にあたり高く 評価された環境負 荷低減 (LCA) 項目	①地球温暖化防止への貢献 重機の使用台数の削減、稼働時間の短縮、施工の容易化により、施工時のエネルギーの削減が図れる。 ②環境への貢献 市内の工事で発生する建設発生土・建設汚泥を原料として使用することにより、環境負荷の低減、改善に貢献する。			
他公共機関等から の評価 (評価証や 認定証等)	・北九州市処分業許可 (混練・造粒固化) ・公共工事のグリーン調達品目 (資材) ・NETIS登録 KT-990318			
施工事例・実績	<p>〈NTT管路埋戻し・現地プラント施工事例〉</p> <p>摘要用途：地下構造物裏込め・充填・埋設管周囲埋戻し・耐震補強</p> <p>打設状況 現地プラント</p> 			
備 考	<p>※ 市職員や施工業者からのアンケート結果に基づく内容を記載</p> <p>① 施工性： 市発注工事における現場での使い勝手の良かった点などを記載。</p> <p>② 耐久性</p> <p>③ その他</p>			

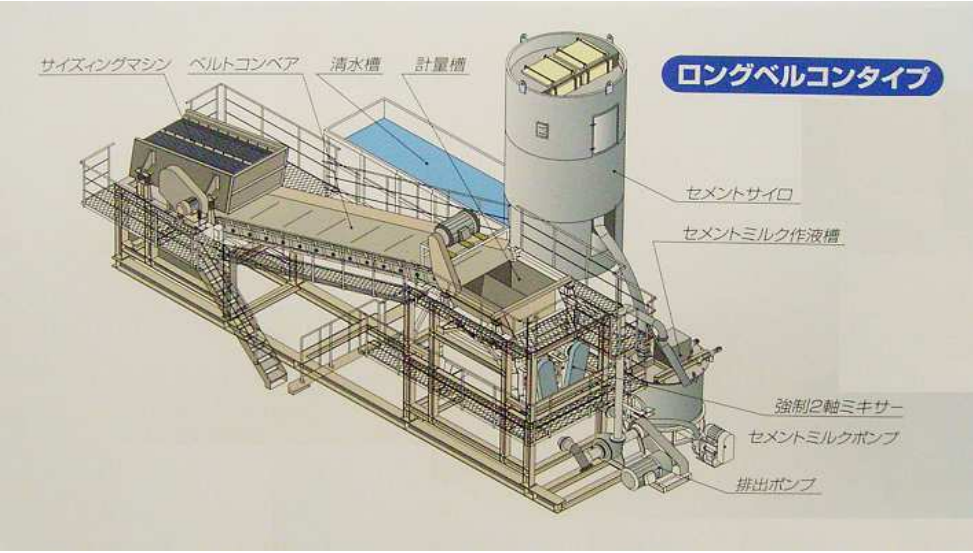
資 材 の 概 要

※ 資材の概要やPR項目等を各事業者が記載

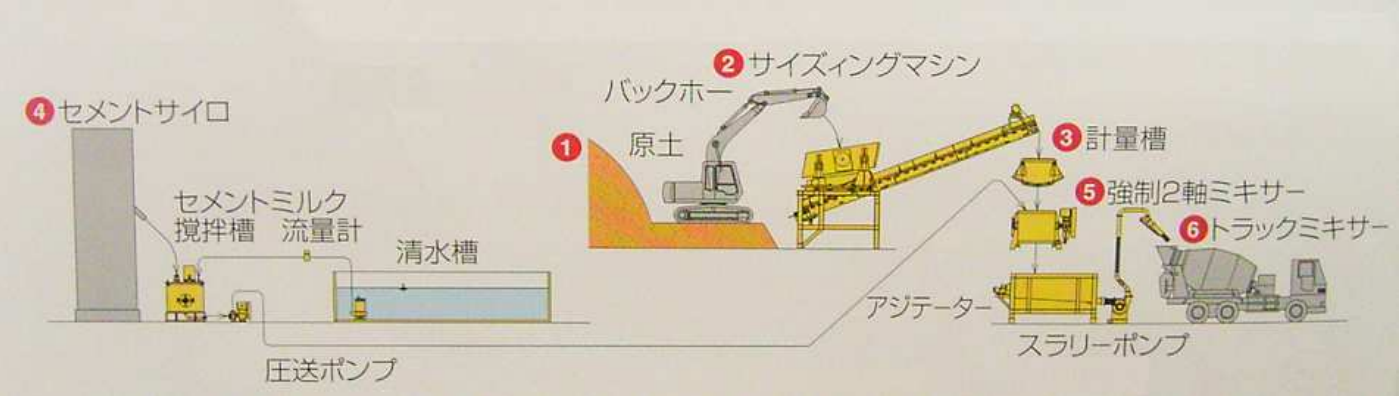
流動化処理土とは

従来、土工に不相当と見なされた高含水比の粘性土や、シルトなどの細粒分、泥土（建設汚泥を含む）などを含め、礫や高有機質土を除くあらゆる土質が原料土として再利用できる。その原料土に固化材・水を加え、混練りし製造する。流動化処理土は、高い流動性と自硬性を有していて締固めを必要としないことから、狭小な空間や締固め困難な箇所などの埋戻し・裏込め・充填に用いると特に効果的である。

流動化処理土製造プラント



流動化処理土製造フロー図



〔特徴〕

- ① 施工性：流動性をもち、締固めが不要である。
狭い空間や形状の複雑な箇所でも埋戻し充填が可能である。
ポンプによる圧送・打設が可能で、締固めを必要としない為施工の省力化が図れる。
- ② 耐久性：強度を任意に設定できる。(100~10000kN/m²)
粘着力が高く、地下水の浸食を受けにくく、地震時に液状化しない。
堆積収縮や圧縮が小さい。
- ③ その他：礫や高有機質土を除く、あらゆる土質の発生土が再利用できる。